

KENWOOD

ケンウッド専用マルチビューリアカメラ

CMOS-C320

ケンウッド専用スタンダードリアビューカメラ

CMOS-C230

CMOS-C230W

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド



正しい取付け
正しい操作で
安全運転

My-Kenwood（ユーザー登録）のご案内

お買い上げいただきました製品を「登録」していただくと、ご使用いただいている製品のサポート情報のほかに、関連製品情報やイベント情報などをご案内いたします。
下記ウェブサイトで会員規約をご確認になり、My-Kenwoodをご利用ください。
<https://jp.my-kenwood.com>

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。記載している表示・図記号についての内容を良く理解してから本文をお読みになり、必ずお守りください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



△記号は、注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。



警告

配線・取り付けについて



DC12V⊖アース車で使用する
本機はDC12V⊖アース車専用です。DC24V車（大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など）で使用しないでください。火災や故障の原因になります。



配線・取り付け作業中は必ずバッテリーの⊖端子をはずす
バッテリーの⊖端子をつないだまま配線・取り付け作業をするとショート事故による感電やけがの原因になります。



コード類は運転や乗り降りの妨げにならないように引き回す
ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダルや足などに巻き付かないように引き回し、まとめたりして固定してください。事故やけがの原因になります。



説明書に従って配線・取り付けをする
正しく配線・取り付けをしないと、火災や事故の原因になります。



取り付け・アース配線などに保安部品を絶対使わない
車の保安部品（ステアリング・ブレーキ系統や燃料タンクなど）のボルトやナットを使用すると、制動不能や発火、事故の原因になります。



取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる
車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や事故の原因になります。



ねじなどの小物類は、乳幼児の手の届くところに置かない
あやまって、飲み込む恐れがあります。事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



安全な場所で取り付ける

取付作業中は、車を安全な場所に止め必ずブレーキをかけてください。また周囲の安全を確認しながら行って下さい。人や物にぶつかり事故の原因になります。



コード類は高温部を避けて配線する
エンジンルーム内の配線はコルゲートチューブを使用する

コード類が車体の高温部に接触すると被覆が溶けてショートし火災や感電の原因になります。



分解・修理および改造はしない

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。火災や感電、故障の原因になります。

使用について



必ず目視による安全確認をしながら車をゆっくりと移動する

カメラの映像は実際の距離と感覚が異なります。画面だけでなく、必ず目視による安全確認をしながらゆっくり移動してください。人や物にぶつかり、事故の原因になります。



必ず規定容量のヒューズを使用する
交換は専門技術者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店、またはお近くの当社サービスセンターにご依頼ください。

異常時の問い合わせ



異常が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ず販売店かサービス窓口にご相談する

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

⚠️ 注意

配線・取り付けについて



コードの扱いに注意する

コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因になることがあります。



必ず付属品や指定の部品を使用する

指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずにはずれたり、事故や故障、火災の原因になることがあります。



カメラは落下しないようにしっかり取り付ける

走行中にはずれて落下し、事故やけがの原因になることがあります。



コードは、水が進入しないように車内に引き込む

雨や洗車などの水が車内に浸水すると、火災や感電の原因となる場合があります。



配線・取り付け、取り外しは専門技術者に依頼する

配線・取り付け、取り外しには、専門技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。



車体に穴を空けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと干渉したり接触したりすることがないようにしてください。火災や感電、故障の原因になります。



ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等を使用して目に切り粉や破片が入らないように保護をしてください。けがの原因になります。

使用について



車載用以外には使用しない

本機は車載専用です。車載以外（ボートなど）に使用すると、火災や感電の原因になることがあります。

使用上のご注意

取り付け上のご注意

- ・ 後方視界の妨げになる場所に取り付けしないでください。
- ・ 取り付け場所の汚れやワックスなどをきれいに拭き取り、確実に固定してください。再貼り付けや汎用の両面テープなどで取り付けると接着が弱くなりカメラが落下する恐れがあります。またフッ素樹脂加工処理された車体やガラスに取り付けしないでください。
- ・ あらかじめカメラとモニターを仮接続し、カメラを取り付けたい場所に取り付け位置を決めてください。このときカメラが車両に当たらないことを確認してください。(一度、貼り付けると貼り直しができません)
- ・ ガラス面に取り付ける場合は、リアワイパー(可動域も)にカメラが当たらないことを確認してください。
- ・ 取り付け面の温度が低い(外気温 20℃以下)時は、接着力を上げるためドライヤーなどで温めてから取り付けてください。(室内ヒーターやリアウインドーの熱線なども効果があります)
- ・ 雨天時(霧雨時など)は、室外で取り付けをしないでください。(接着力が弱くなり、カメラが走行中にはがれ落ちる危険性があります)
- ・ カメラを取り付け後、24 時間以内は雨中の走行や水をかけたり無理な力を加えないでください。カメラブラケットの接着力が弱くなりはがれ落ちる危険性があります。
- ・ コード類は、運転操作の妨げにならないようテープ等でまとめてください。

使用上のご注意

- ・ 本機は広角レンズを使用していますので、実際より遠めに映ります。必ず目視で周囲の安全を確認してから後退運転を行ってください。
- ・ 長時間カメラのレンズに、太陽光やヘッドライトの光などが当たると残像(焼き付き現象)が残るときがあります。長時間駐車する場合は、光が入らないようレンズ部を覆ってください。
- ・ 蛍光灯などで照らされた場所では、画面がちらつくことがあります(故障ではありません)。
- ・ 走行前に取り付け状態を点検してください。
 - ✓ 取付ネジがゆるんでいないか
 - ✓ カメラブラケットがはがれていないか
- ・ カメラ内および車室内に水の浸入を防ぐため、洗車する際はカメラや配線部への直接放水は避けてください。
- ・ 高圧の自動洗車機や高圧洗浄機など、高圧力の水で洗車は行わないでください。カメラ内に水が入ったりカメラが落下する恐れがあります。

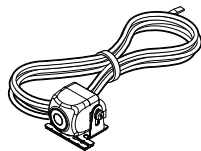
本機のお手入れ

- ・ 汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後クリーナーを拭き取ってください。固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもの拭くと、傷が付いたり変形や変質、破損の原因になります。
- ・ レンズ部が汚れている場合には、水を含ませた柔らかい布で軽く拭いてください。乾いた布で強くこすると傷の原因になります。

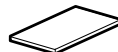
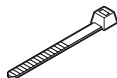
付属品

カメラ用として以下の部品を付属しています。取付 / 接続前にご確認ください。本製品を取り付けの際には必ず付属の取付用部品をご使用ください。

カメラ (カメラブラケット付)..... 1



束線バンド 2
ソフトテープ 1



電源コード 1



グローメット 1
カメラブラケット固定ネジ 1



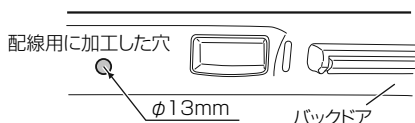
- 本書の画面や操作例は操作説明用に作成したものです。実際の画面と異なる画面や、実際には行えない例が記載されている場合があります。
- 接続するナビゲーションによって、表示されるボタンの形状や位置や名称が異なります。接続するナビゲーションの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 最新の取扱説明書や接続に関する情報などを当社ホームページで提供しています。下記ウェブサイトでご確認ください。

<http://www.kenwood.com/jp/cs/car/>

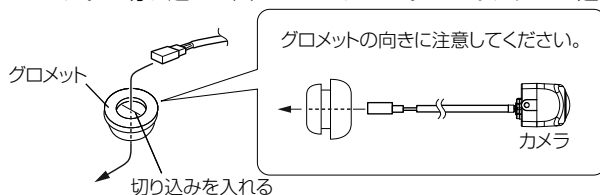
コードの引き回し例

- ・ソフトテープを貼り付ける部分は、市販のクリーナーで汚れ、水分、油分などを拭きとってください。
- ・カメラコードと電源コードの接続部は、防水加工されていません。接続部が車室内に引き込めない場合は、必ずコード接続部に市販の防水テープなどで防水加工してください。
- ・カメラコードおよび電源コードは、テレビアンテナコードから、できるだけ離してください。（テレビに妨害が入ることがあります）
- ・モニターテレビの電源を切っても、AMラジオ放送に雑音が入るときは、車両のワイヤーハーネスからカメラコードを離してください。
- ・配線・取り付け、取り外しには、専門技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。
- ・車体に穴を空けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと干渉したり接触したりすることがないようにしてください。火災や感電、故障の原因になります。
- ・ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等を使用して目に切り粉や破片が入らないように保護をしてください。けがの原因になります。

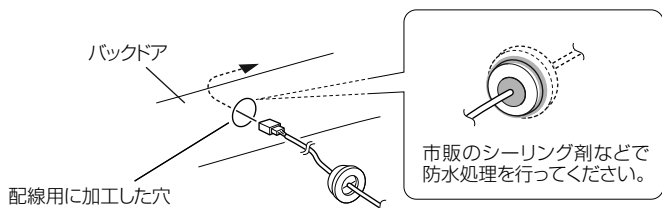
1 配線用の穴を空ける



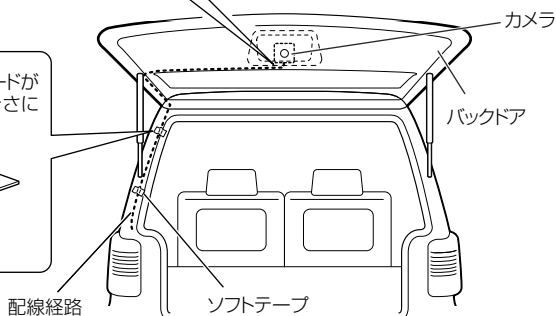
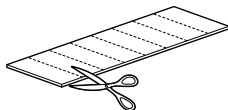
2 付属のグロメットに切り込みを入れてカメラコードのコンネクターを通す



3 バックドア内側のグロメット部を市販のシーリング剤などで防水処理をする



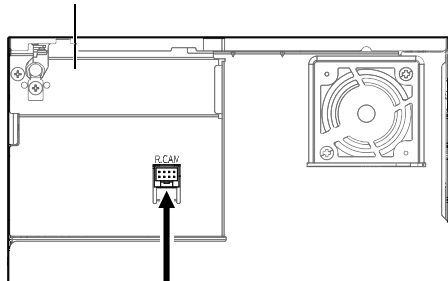
ソフトテープはカメラコードがきちんと留められる大きさに切ってください。



配線のしかた

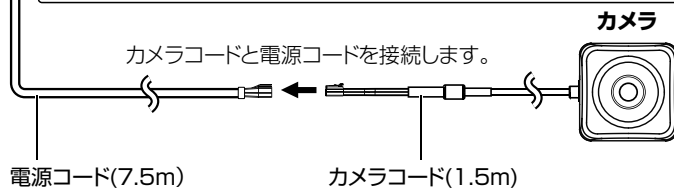
⚠注意 接続作業を行うときは、カーナビゲーションの電源が切れていることを確認してください。

ケンウッドの接続可能なカーナビゲーション



リアカメラ専用入力端子に接続します。

リアカメラ専用入力端子の位置は接続するケンウッドカーナビゲーションの取扱説明書または取付説明書でご確認ください。



取り付けかた

△注意

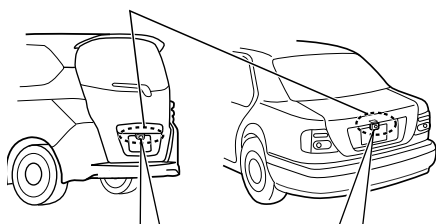
- ・カメラの前面部は「道路運送車両の保安基準第18条第1項第2号」に準拠しています。保安基準に適合させるため、取り付けるときは次に説明する推奨取付位置のように取り付けてください。
- ・取り付け位置によっては、カメラ設定の調整範囲を超えることがあります。カメラ設定が完了するまではカメラを固定せずに仮止めして設定を行ってください。

推奨取付位置

カメラ後部を車両に隠れるように取り付けてください。

リアビューカメラの正しい取り付け例

取付場所

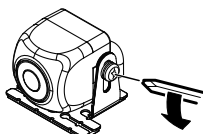


カメラの“KENWOOD”ロゴが上になるように取り付けてください。



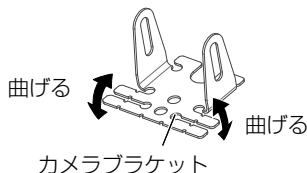
カメラの取り付け

- 1 カメラを取り付ける位置を決める
- 2 カメラを取り付ける面をきれいにする
カメラブラケットを取り付ける部分の汚れ、水分、油分などを市販のクリーナーできれいに拭き取ってください。
- 3 カメラブラケットのネジを緩める
市販の+ドライバーで取り付けネジ（2本）を緩めてください。

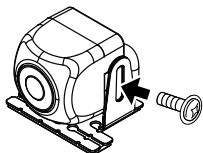


手順4、5は必要に応じて作業します。

- 4 必要に応じてカメラブラケットを取り外し、取り付け面に合わせて成形する
カメラを取り付ける場所に合わせてカメラブラケットを成形してください。

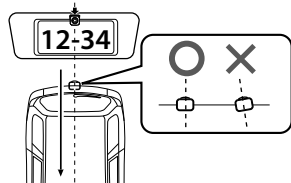


- 5 カメラをカメラブラケットに取り付ける
取り付けネジでカメラブラケットにカメラを固定します。（両側2カ所）
車両に取り付ける時に“KENWOOD”ロゴが上になるように取り付けてください。



6 カメラをテープなどで仮止めする

カメラを市販のテープなどで仮止めしてください。



カメラはナンバーを隠さないように車の中央付近に貼り付けます。また車の進行方向に対してまっすぐ取り付けてください。

7 あらかじめすべての配線を済ませておく (➡ P.6、P.7)

角度調整

1 カメラ映像を表示させる

カメラ映像を映すときには、車が動かないようにパーキングブレーキを引き、輪止めを必ず行ってください。思わぬ事故の原因となります。

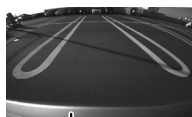
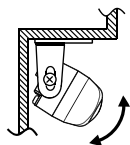
シフトレバーをR（リバース）レンジにして、車両後方の映像を表示させます。表示方法については接続するカーナビゲーションの取扱説明書をご覧ください。

2 カメラの角度を調整する

カメラ角度調整のとき、カメラコードが突っ張らないように注意してください。

CMOS-C230 CMOS-C230W

車両後部または車両のバンパーがモニターテレビ画面の下端に映るように角度を調整する。

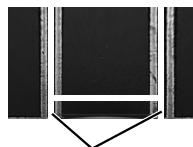
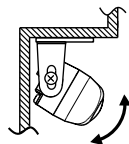


車両後方部またはバンパー

CMOS-C320

画面表示の俯瞰ビューを表示して (➡ P.11)、黄色のガイド線が駐車線と平行になるようにカメラの角度を調整する。

ガイド線を表示させる方法については接続するカーナビゲーションの取扱説明書をご覧ください。



ガイド線（黄色）

3 カメラの設定を行う CMOS-C320

俯瞰映像調整とワイドビューガイド線調整 (➡ P.11 ~ P.13) を行ってください。

調整しきれない場合は、カメラの取り付け位置を調整してください。

4 角度調整後、取り付けネジをしっかりと締め付ける

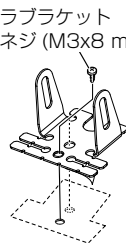
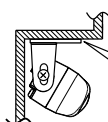
取付ネジは時々点検し、緩みがある場合は増し締めしてください。

5 カメラを固定する

カメラブラケットの両面テープのハクリ紙をはがし取り付けます。取り付け後は、確実に密着するようにカメラブラケットを指で押してください。接着面に手を触れたり、貼り直したりすると、接着力が低下してカメラブラケットがはがれる恐れがあります。

また必要に応じて、ブラケット固定ネジでブラケットを車両に取り付けてください。ネジ穴は2つあります。取り付け位置に応じてどちらかに取り付けてください。

カメラブラケット
固定ネジ (M3x8 mm)



リアビューカメラ設定 CMOS-C320

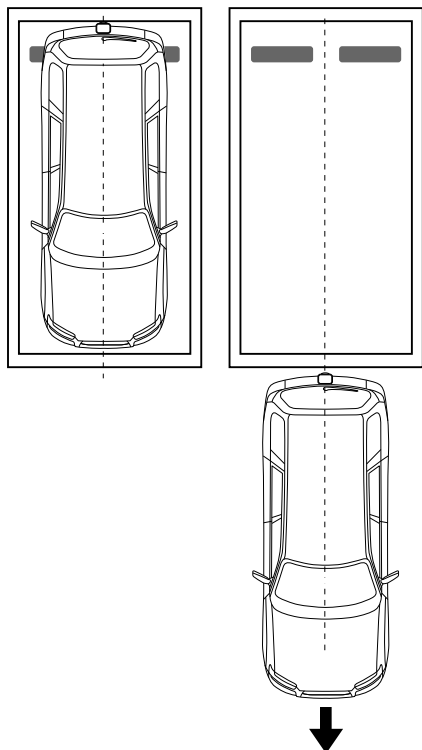
リアビューカメラ設定に入る前の準備

1 車を止める

白線とタイヤ止めのある駐車スペースで、白線枠内の中央に駐車します。

2 車を前に出す

- 車を直進させて、カメラ映像に駐車スペース全体が映る位置に移動します。
- 設定するときには必ずパーキングブレーキを引き、ブレーキを踏んで車が停止した状態で行ってください。周囲の迷惑にならない場所に止めて設定してください。



リアビューカメラ設定手順

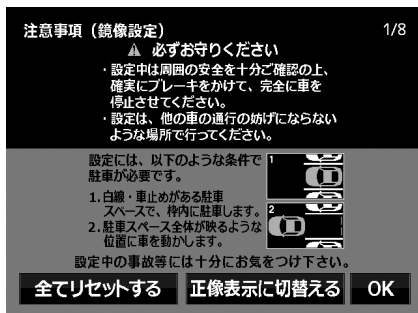
リアビューカメラ設定は、カーナビゲーションの設定メニューから行ってください。設定の操作は、設定または調整したい項目にタッチして選択します。もう一度タッチすると設定の切り替えや選択した項目を調整することができます。操作方法については接続するカーナビゲーションの取扱説明書をご覧ください。

1 あらかじめすべての配線を済ませておく (⇒ P.6、P.7)

2 リアビューカメラ映像を表示させる

3 ナビ画面を操作してカメラ調整モードに切り替える

4 リアビューカメラの設定をする



上の画面 (鏡像設定) が表示されたら、[OK] にタッチします。

- ・ [全てリセットする] にタッチすると確認メッセージが表示されます。「はい」にタッチすると全てのカメラ設定が初期状態に戻ります。
- ・ 本機はリアカメラ専用として接続を行うため [正像表示に切替える] の設定は使用しません。鏡像設定のままお使いください。

5 リアビューカメラの映像調整をする 俯瞰映像調整 (⇒ P.11)

(センタリング、左右角度、上下角度)

ワイドビューガイド線調整 (⇒ P.12)

(大きさ、左右、赤線位置)

6 終了する

俯瞰映像調整 (センタリング調整)

カメラの取付位置の左右位置を調整します。

- 1 俯瞰映像調整 (センタリング調整) を選択する
- 2 [⊕] または [⊖] にタッチして駐車スペースが画面中央になるように調整する



調整できる範囲は⊕、⊖各2段階です。調整できない場合は、カメラの取り付け位置を調整する必要があります。

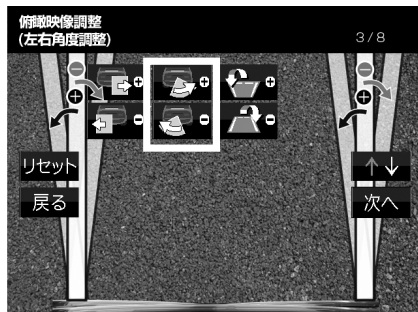
- ・[戻る] にタッチすると、手順4の画面に移動します (→ P.10)。
- ・[次へ] にタッチすると、「ワイドビューガイド線調整」画面に移動します。
- ・[リセット] にタッチすると、俯瞰映像調整のカメラ調整が初期状態に戻ります。
- ・[↑↓] または [↕] にタッチすると、アイコンの表示位置が上下に移動します。

- 3 調整が終了したら次の調整を選択する
↓ 俯瞰映像調整 (左右角度調整) へ

俯瞰映像調整 (左右角度調整)

カメラの取付位置の左右角度 (回転方向) を調整します。

- 1 俯瞰映像調整 (左右角度調整) を選択する
- 2 [⊕] または [⊖] にタッチして駐車スペースの中心の傾きが垂直になるように調整する



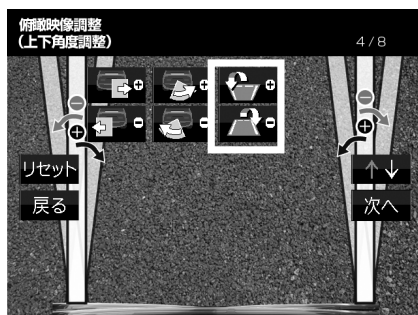
調整できる範囲は⊕、⊖各1段階です。調整範囲に入らない場合は、カメラの取り付け位置を調整する必要があります。

- 3 調整が終了したら次の調整を選択する
↓ 俯瞰映像調整 (上下角度調整) へ

俯瞰映像調整 (上下角度調整)

カメラの取付位置の上下角度 (傾き) を調整します。

- 1 俯瞰映像調整 (上下角度調整) を選択する
- 2 [⊕] または [⊖] にタッチして駐車線の傾きが垂直になるように調整する

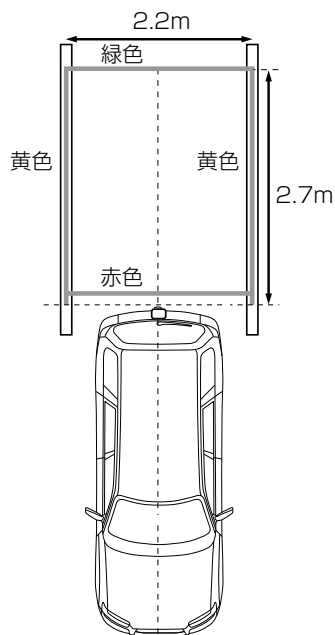


調整できる範囲は⊕、⊖各1段階です。調整範囲に入らない場合は、カメラの取り付け位置を調整する必要があります。

- 3 調整が終了したら [次へ] にタッチする
↓ ワイドビューガイド線調整 (大きさ調整) へ

リアビューカメラ設定 CMOS-C320

ガイド線（距離目安線）の大きさ、位置を調整します。赤色線は停止位置として使用し、単独で位置を設定できます。表示されるガイド線の初期値は取付高さ 80cm で以下のようになります。



- ・カメラを取り付ける位置によっては、ガイド線が駐車線に合わないことがあります。
- ・リアビューカメラ設定は、カーナビゲーションの設定メニューから行ってください。設定の操作は、調整したい項目にタッチして選択します。もう一度タッチすると選択した項目を調整することができます。

ワイドビューガイド線調整（大きさ調整）

ガイド線全体の大きさを調整します。

1 ワイドビューガイド線調整（大きさ調整）を選択する

2 [⊕] または [⊖] にタッチして大きさを調整する



- ・調整できる範囲は⊕ 3段階、⊖ 6段階です。
- ・[戻る] をタッチすると、「俯瞰映像調整」画面に移動します（➡ P.11）。
- ・[次へ] にタッチすると、「設定完了」画面に移動します。
- ・[リセット] にタッチすると、ワイドビューガイド線調整のカメラ調整が初期状態に戻ります。
- ・[↑↓] または [↕] にタッチすると、アイコンの表示位置が上下に移動します。

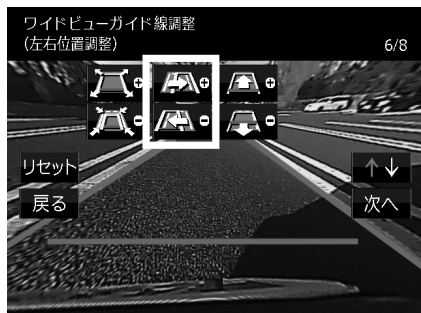
3 調整が終了したら次の調整を選択する

↓ ワイドビューガイド線調整（左右位置調整）へ

ワイドビューガイド線調整 (左右位置調整)

ガイド線全体の左右位置を調整します。

- 1 ワイドビューガイド線調整 (左右位置調整) を選択する
- 2 [⊕] または [⊖] にタッチして左右位置を調整する



・調整できる範囲は⊕、⊖ 各 16 段階です。

- 3 調整が終了したら次の調整を選択する
↓ ワイドビューガイド線調整 (赤線位置調整) へ

ワイドビューガイド線調整 (赤線位置調整)

ガイド線の赤色線の位置を調整します。停止位置の基準線を単独で設定できます。

- 1 ワイドビューガイド線調整 (赤線位置調整) を選択する
- 2 [⊕] または [⊖] にタッチして赤線位置を調整する

自車のバンパー端付近まで赤線を移動させます。

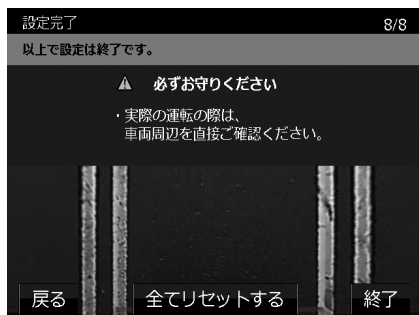


・調整できる範囲は⊕ 8 段階、⊖ 17 段階です。

- 3 調整が終了したら [次へ] にタッチする
↓ 設定完了画面へ

設定完了

- 1 [終了] にタッチする



画面表示を切り替える CMOS-C320

カメラの視点を切り替える

カーナビゲーションの画面にタッチして、画面を切り替えることができます。操作方法については接続するカーナビゲーションの取扱説明書をご覧ください。

- 1 シフトレバーをR(リバース)レンジにして、リアカメラの映像が表示されているときに画面にタッチして、カメラ操作ボタンを表示させる
- 2 カメラ操作ボタンにタッチしてリアカメラの視点を切り替える

ウルトラワイドビュー

水平約 195 度の広角なカメラ映像です。



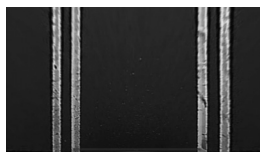
ワイドビュー

水平約 135 度のカメラ映像です。



俯瞰ビュー

真上から見た視点の映像です。



カメラの取り付け位置によっては、俯瞰映像が正しく表示されないことがあります。

コーナービュー

車両の両端の映像を左右に表示します。



仕様一覧

カメラ部 CMOS-C320

出力映像：広角鏡像（後方確認用）
撮影素子：33 万画素 1/3.6 型 カラー CMOS
レンズ：広角、焦点距離 $f=1.05\text{mm}$ F 値 2.0
画角：水平 約 195° / 垂直 約 145°
標準映像出力レベル：1.0Vp-p (75 Ω)
照度範囲：約 0.9 ~ 10 万 Lux
アイリス方式：電子アイリス
走査方式：インターレース
同期方式：内部同期
外形寸法 (W × H × D)：23.4 × 23.4 × 26.1 mm
質量 (重さ)：約 23 g (コードを除く)

カメラ部 CMOS-C230 CMOS-C230W

出力映像：広角鏡像（後方確認用）
撮影素子：33 万画素 1/3.6 型 カラー CMOS
レンズ：広角、焦点距離 $f=1.12\text{mm}$ F 値 2.2
画角：水平 約 128° / 垂直 約 103°
標準映像出力レベル：1.0Vp-p (75 Ω)
照度範囲：約 0.9 ~ 10 万 Lux
アイリス方式：電子アイリス
走査方式：インターレース
同期方式：内部同期
外形寸法 (W × H × D)：23.4 × 23.4 × 23.9 mm
質量 (重さ)：約 21 g (コードを除く)

- ・ 鏡像とは、バックミラーやサイドミラーと同様に、左右反対に映ることをいいます。
- ・ これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

保証について

- 保証期間 お買上げの日より**1年**です。

修理に関するご相談は

修理などアフターサービスについては、当社ホームページまたはJVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

- ホームページ
<http://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>
- JVC ケンウッドカスタマーサポートセンター
0120-2727-87（固定電話からはフリーダイヤル）
0570-010-114（携帯電話、PHSからはナビダイヤル）
045-450-8950（一部IP電話など）
FAX 045-450-2308
住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12
受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00
土曜 9:30～12:00、13:00～17:30
（日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）

修理を依頼されるときは

製品の電源をオフにして、お買上げの販売店またはJVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

●保証期間中は…

保証書の規定に従って、お買上げの販売店またはJVC ケンウッド・サービスが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後は…

お買上げの販売店またはJVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

●持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。（本機と一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープなどのメディアはあらかじめ取り出してください。）
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

●修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。）

- 技術料：製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代：修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

保証書

持込修理用
(日本国内専用)

品名	ケンウッド専用マルチビューリアカメラ ケンウッド専用スタンダードリアビューカメラ	形名	CMOS-C320 CMOS-C230 CMOS-C230W
保証期間	(お買上げ日より) 1年間		
※ お買上げ日	年 月 日		
※ お客様	お名前 様 ご住所 電話番号 ()		
※ 販売店	店名 住所 電話番号 ()		

※ 印欄は必ずご記入ください。

お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、本書記載内容により無料修理させていただきます。

- 修理は、保証書を添えてお買上げの販売店、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターまたはお近くのJVC ケンウッド・サービス窓口にご相談ください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用して頂く場合がございますので、ご了承ください。

無料修理規定

- 保証書に呈示の保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は、お買上げの販売店または JVC ケンウッドサービスにて無料修理をさせていただきます。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買上げの販売店または、お近くの JVC ケンウッド・サービス窓口へご依頼ください。なお、修理に際しては必ず保証書をご提示ください。
- ご転居の場合は事前にお買上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品等で保証書に記入してあるお買上げの販売店に修理を依頼できない場合には、お近くの JVC ケンウッド・サービス窓口へご相談ください。
- 次の場合には保証期間内でも有料になります。
 - (1) 保証書のご提示のない場合。
 - (2) 保証書にお買上げの年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、または字句を書き替えられた場合。
 - (3) 使用上の誤り、不当な修理、調整、改造による故障及びそれが原因として生じた故障及び損傷。
 - (4) 故障の原因が本機以外の機器にある場合。
 - (5) お買上げ後の取付け場所の移動、輸送、落下、冠水などによる故障及び損傷。
 - (6) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、鼠害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
 - (7) 一般家庭以外に使用された場合の故障及び損傷 (例えば、業務用の長時間使用、車両<車載用製品を除く>、船舶への搭載等)
 - (8) 製造番号の変更及び、取り外した製品。
 - (9) 消耗部品 (例えばプレーヤーの針、回転機器のベルト、テープレコーダーのヘッド、乾電池、充電池) の交換。
 - (10) 持込修理対象品でお客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金。
- 保証書は、日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
- 保証書は、再発行しません。大切に保管してください。

※ 修理の内容は修理伝票に記載し、お渡しします。

※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者 (保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについて、不明の場合はお買上げの販売店またはお近くの JVC ケンウッド・サービス窓口へお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは本取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。